

ナガイモ食品 試作品試食も

都市エリア産学官連携

25日に成果発表

文部科学省の事業で、十勝管内で進んでいる「都市エリア産学官連携促進事業」の成果発表会が25日午後一時半から帯広市内の春都苑で行われる。事業開始後1年の成果を、一般市民を対象に分かりやすく説明して内容を知らせてもらい、地域全体で盛り上げていくのが狙い。参加者を18日まで募集している。

同事業は、産学官の連携で地域資源を生かした製品開発を進めて地域振興を図るのが目的。3力年の事業で、文科省から研究資金として3億円が拠出されるが、新製品の

開発など具体的な成果が強く求められる。十勝は因循に続き道内2例目として昨年4月に採択された。テーマは「機能性を重視した十勝農産物の高付加価値化に関する技術開発」で、帯広畜産大学などが中心になって、十勝産のナガイモなどを使い「体に良い」を科学的に証明して、価値の高い食品の開発につなげていく。

発表会では、文科省の地域科学技術振興室の真先止人室長が基調講演を行い、多テーマごとに研究者がそれぞれ、

この1年間の研究成果を発表する。参加無料で定員は100人。

成果発表1時のナガイモの漬物や試作品を試食できる交流会も会場3000円で参加できる。

問い合わせは十勝圏振興機構(37・83883)へ。(田島工幸)